

2025 年度 一般型入試 第 I 期
公共 解答および解答のポイント

| |
|------|
| 受験番号 |
| |

【I】

問 1 A : ⑤ B : ⑨ C : ⑥ D : ⑫

E : ⑧

問 2 解答のポイント

すでに社会の中で実装されている対策から、教科書に記載されているような基礎的な対策、あるいは未実装であるものの効果が期待されるような対策が書かれていること。例として、環境税の導入、クリーンエネルギーの推奨、移動手段の見直し、カーボンフットプリントの周知など。

問 3 イ 問 4 イ

問 5 ドナルド・トランプ

問 6 解答のポイント

アメリカのパリ協定離脱に典型的にみられるような「先進国による自国経済」の優先、気候変動が具体的にどの国によって引き起こされているかわからないという「責任の所在の不明瞭さ」などの経済・社会的な側面に関する言及があること。

【Ⅱ】

問1 A: ⑦ B: ④ C: ⑨ D: ⑩

E: ⑤ F: ⑪ G: ⑭

問2 ア

問3 働き方改革

解答のポイント

長時間労働の是正、柔軟な働き方の促進の2つの柱についての言及があるかどうか。

テレワーク

ICTを活用した、職場以外での勤務が可能な制度であることが言及されているかどうか。

問4 ワーキング・プア

【Ⅲ】

問1 イ 問2 ア

問3

解答のポイント

主権者教育の充実といった主権者側の意識改革について論じられているかどうか。この点に加えて、行政や議会の側の改善（説明責任、情報の透明化）などについても書かれていることが加点のポイントとなる。

「公共」出題の意図

まずは、教科書の基本的な事項（特に教科書で太字にされている点）について、単にそれを暗記するだけでなく、それを自分の言葉で説明できるか、あるいはそれに対して自分の意見を主張することができるかを重要なポイントとした。また、教科書にも書かれており、かつ時事的に重要とされている論点（たとえば「ワークライフバランス」や「気候変動問題」）などについての広い視点を問う問題も出題している。この点に関しては、日頃からニュースや新聞を読み、時事問題についての新書を読むなどといったことを出題者として期待している。第4期では特定の情報を踏まえた上で回答者の論理的な考えを求めるような出題を多めに設定している。